

上田市・青木村地域公共交通利便増進実施計画（概要案）

■上田市と青木村において、地域公共交通は社会インフラとして、**地域住民の日常生活や社会生活における移動又は観光等による来訪者の移動のために必要不可欠**であるものの、**運転手不足、赤字運行の常態化などにより大変厳しい状況**が続き、さらなる縮小均衡のみならず、**路線バス存続の危機**が迫る。

■交通事業者の経営存続さえも危惧されるこの危機的な状況を**直視**し、利便の増進によって地域公共交通の確保・維持を図るため、利用者視点と事業者視点の両面から、運転手の確保に加え、**①サービス水準の向上による利用者の確保と潜在的なニーズの掘り起こし、②適正な運賃設定による収益性の確保、③行政負担のあり方を見直しによる交通事業者の経営基盤の強化**について、均衡を図りながら総合的に進める。

事業の内容

①地域公共交通ネットワークの再編とサービス水準の保証

- ・路線バスの再編
 - ・菅平高原線や津津線などの路線の運行ルートの変更や再編
 - ・菅平高原線等の増便
 - ・塩田線の改変による日中ルートの循環化及び通年運行化
 - ・鹿教湯線などのパターンダイヤ化
 - ・20時台の運行復活
 - ・スーパーマーケット等生活支援施設などへの乗り入れ など
- ・参考 地域鉄道の増便 上田電鉄別所線の増便（平日 56便→78便）

②公共交通利用環境の改善

- ・ゾーン制運賃（初乗り100円、ゾーン跨ぎ100円）導入、**適正運賃による収益性確保**
- ・わかりやすいバス路線図と時刻表 ・GTFSの整備

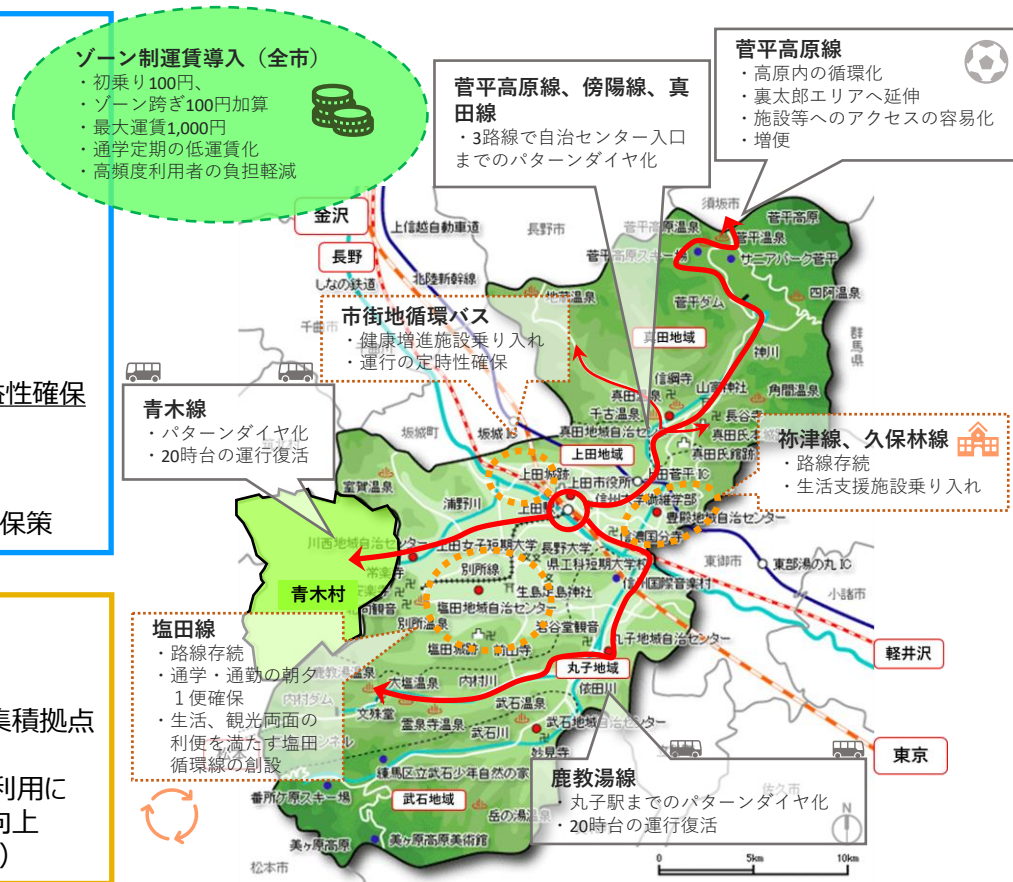
③交通事業者経営基盤強化支援事業

- ・運行協定支援事業の創設（バス事業者への支援拡充）
- ・会社説明会の定期開催、普通二種免許取得費用支援制度創設等の人材確保策

事業の効果

- 増便又はパターンダイヤ化による待ち時間の短縮
- 生活支援施設や観光施設へのアクセスの容易化と運転手の労働環境改善
- 20時台のバスの運行復活による朝夕の通学・通勤需要の充足と都市機能集積拠点である上田駅における滞在時間の増加
- 運行経費の高騰分の運賃への反映、生活利用（特に通学定期）、観光利用に応じたメリハリある運賃設定による低運賃化などによる利用者確保と収益性向上
- 交通事業者の経営基盤強化による運行の確保・維持（路線の存続含む。）

- ・作成自治体：長野県上田市、青木村
- ・事業実施区域：上田市及び青木村の全域
- ・事業実施予定期間：令和7年10月～令和12年9月



- ・運行協定支援事業（交通事業者の経営基盤強化による運行の確保・維持）
- ・会社説明会など各種人材確保策の実施